

第1予算決算特別委員会

委員長 諸根重男

当委員会に付託された議案は、21年度一般会計補正予算1件、20年度特別会計歳入歳出決算認定8件です。全て原案どおり可決、認定すべきものと決し、14日の本会議で可決、認定されました。

一般会計補正の主な内容(歳出)

(単位：千円)

内 容	補正額
高度情報化推進事業	51,722
徴税費 賦課徴収費	△10,000
健康センター運営委託事業	1,524
保健福祉センター維持管理事業	1,722
社会福祉費 介護支援費	5,003
児童福祉費 児童福祉総務費	19,486
生活習慣病検診事業（集団検診）	2,853
農業費 農地費	3,052
生活道路（簡易舗装）整備事業	5,000
2項道路用地買収事業	5,084
小学校電算機器整備事業	48,035
小学校施設改修事業	191,562
小学校教材備品整備事業	18,451
小中学校教育(理振)設備備品整備事業	3,899

◎審査にあつた委員

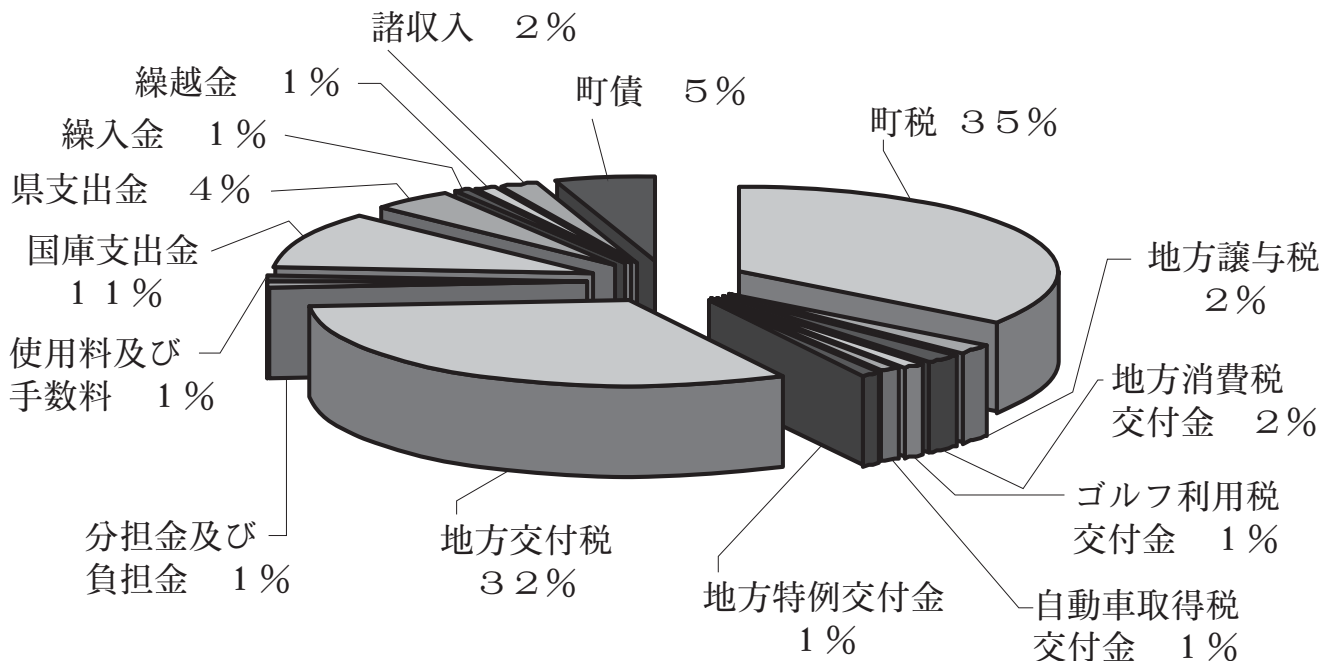
◎副委員長 鈴木 隆司

○委 員 青山 英樹・藤井 精七・大木 義正
熊田 宏・根本 信雄・栗崎千代松



第1予算決算特別委員会

一般会計（歳入）決算 総額60億8,442万2千円



第2予算決算特別委員会

委員長 永沼義和

当委員会に付託された議案は、21年度特別会計補正予算4件、20年度一般会計歳入歳出決算認定1件です。全て原案どおり可決、認定すべきものと決し、14日の本会議で可決、認定されました。

◎審査にあつた委員

◎副委員長 吉田 伸
○委 員 竹元 孝夫・鈴木 一夫・棚木 良一
角田 秀明・遠藤 守



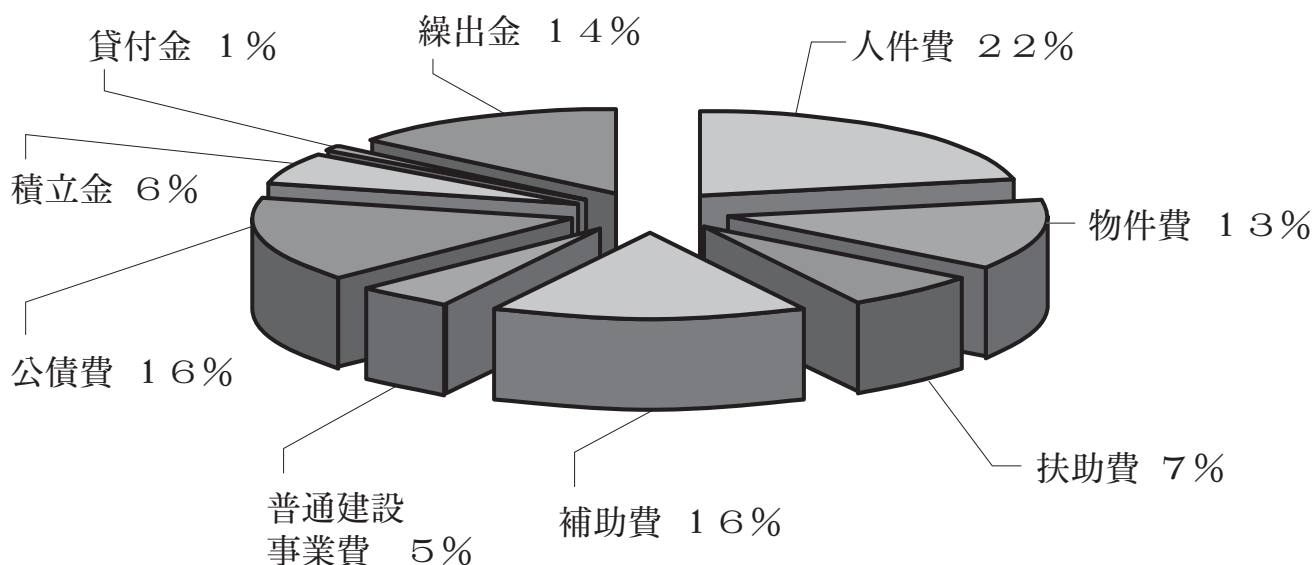
第2予算決算特別委員会

特別会計補正の主な内容(歳出)

(単位:千円)

内 容	補正額
国民健康保険特別会計	
国保医療費事業	3,019
国保出産育児一時金事業	1,010
老人保健特別会計	
償還金	9,997
一般会計繰出金	2,530
介護保険特別会計	
総務管理費 一般管理費	370
介護保険料賦課徴収事務	270
特定入所者介護サービス費補助事業	4,364
償還金及び還付加算金 償還金	13,556

一般会計(歳出)決算 総額56億3,291万9千円



企画経営課

- Q 補正予算債とは何か
A 国の補正予算に対応し、財源確保が容易になる制度。交付税措置もあり、有利なことから借入れを行う。
- Q プロジェクトチームでは町長室の2階への移動も含めて、何をしようとしているのか。
A 将来の役場職員を130名くらいまでしぼる計画があり、これに対応し得る役場組織のあり方を検討している。町長室の移動は、相談室の必要性や町民の利便性等を検討してのものである。
- Q 教育費国庫補助金8億円の見通しは大丈夫か。
A 補助金については内示を受けている。公共投資臨時交付金については内示がないので、ルール計算による数字を予算計上。
- Q スクールニューディール事業の国庫補助金の内訳は。
A 安全、安心な学校づくり交付金、公立学校施設整備事業等。

Q 万が一、インフルエンザの流行で医療費が増大する場合、財政調整基金では足りないのでは。

A 財政調整基金より国保会計へ7千万円を繰り出し国保基金積立金6千万円と合わせて、この基金を活用する。

Q 庁舎や公民館の老朽化に対応して長期的な計画はあるのか。

A 学校以外の施設の計画はないが、施設の維持修繕枠を設定し老朽化に対応。

総務課

- Q 緊急雇用創出の採用は、各課に任せているのか。
A 総務課登録の臨時職員を採用する場合と、外部委託がある。
- Q 無料職業紹介所の登録者については。
A 条件に合致すれば雇用している。
- Q 女性職員が課長に登用されていない。
A 男女雇用機会均等法があるので、適任者がいれば登用も必要と考える。

町民生活課

Q 今回の消火栓設置はどこか。

A 三城目地区で、20年以上経過した消火栓である。

Q 西山墓苑を欲しい人がいるが。

A 現在満杯で、隣接する土地の年度内取得に向け交渉中。

Q 大町地区で消火栓設置の要望があるか。

A 上下水道課と協議する。



西山墓苑

Q 火葬場協議会から白河市が脱退するとの話であるが、経営は大丈夫か。

A 白河市及び旧大信地区は、4年後の平成25年3月31日脱会予定。現在の負担割合は約13%であり、経営的には大丈夫である。

Q 墓園の火葬業務委託料はいくらか。

A 848万4千円である。

Q 住基カードは何人取得したか。

A 206人に交付。

Q 不法投棄監視カメラの台数と効果は。

A カメラは一台である。不法投棄場所は、もちろんごみ集積所にも付け替えたりして、効果を上げている。

税務課

Q 今年の法人町民税は減ったが、来年の見込は。

A 景気動向によるが、均等割の5千万円は最低入る。所得割はいくらになるか見込が立たない。

Q ミヤノの本社が矢吹へ移るようだが、法人税は増えるのか。

A ミヤノ関連2社に、法人税均等割が課税されている。本社から矢吹へ移ってくる従業員数は約80名である。

Q 電子申告の状況は。

A 申告期間中14人が利用。

Q 生活保護制度について。

A 生活保護等の相談があれば、担当課へ話をするよう伝えることはできる。

産業振興課

Q 長峰地区、ほ場整備の文化財調査について。

A 試掘の結果、本調査の必要があるが、経費は県と町で賄うようになっており地元負担はない。

Q 法政大学パイロット養成課程について。

A 法政大学でも来年4月からの学生寮の開設を目指している。しかし現段階では、大学側からの具体的意思表示は、されていない。

Q 無料職業紹介所の現状は、A 町内の有効求人倍率は0.5、紹介件数は66件、採用件数は、27件である。

Q 各種制度資金の利用実績はどうか。

A 今年度より条例を改正し利率の引下げ等を行っている。中小企業経営合理化資金と、小規模企業後継者育成資金は、それなりに利用されている。

Q 商工会の運営補助金は。

A 今年度は480万円である。

Q 雇用促進住宅矢吹南宿舍の購入について。

A 譲渡提示価格4千110万円を5年位で支払っていきたい。家賃が現行で7割程度の入居率があれば、年間の支払いと維持費が確保できる。

保健福祉課

Q 介護保険滞納者についてA 滞納者約100名、収納率99.2%、昨年より0.1%下がった。

Q 出産一時金は、いくらになるのか。出産に係る費用は。

A 4万円引き上げ39万円。

産科医療保険の3万円をプラスして42万円が支給。出産に係る費用は全国平均で約38万円位。

Q 西白河病院にできた施設は。

A 医療と介護が一体となった老人保健施設。

Q あゆり工房が移った経過は。

A 福祉会館では、現状の補助制度では対象にならない。民間施設に移ったことにより、別の補助制度で対応されるようになった。

Q 人口透析通院補助について。

A 通院患者は、すべて該当になる。通院費用の約%が補助される。



補強後の中央幼稚園

Q 社会福祉協議会への委託が大分増えているが。

A 事業目的ごとに委託している。町として関与できる部分については、関わっていく。

生涯学習課

Q 公民館費に計上されている視聴覚機器購入費（テレビ）は、何台か。

A 50型のテレビで、中央・中畑・三神公民館の3台。

Q 文化センター施設指定管理費2千2百万円は、指定事業の事業費を含んだものか。

A 年2回の事業実施を含んだ金額。

学校教育課

Q 教育用コンピュータ入札で予定価格に対する落札額が低い。

A 予定価格は、既設システムの導入した時の資料により算出。今後最新情報で行っていく。

Q 保育料、給食費の滞納について。

A 未納者への対応を行っているが、出席停止は、行っていない。

Q ひかり保育園事業委託を行って一年半が経過したが、状況は。

A 苦情等は特にない。今後民営化に向け、準備を行う。

Q 47台のパソコンリース料の金額は。

A 月額9万4290円で、5年間総額で565万7400円です。

Q 中央・三神幼稚園の補強工事は終了したか。

A ほぼ終了した。

Q スクールニューデール構想で補助・交付金の金額は、どの位確定性があるのか。

A 国の補助金は、内示を受けている。交付金は未定臨時交付金から交付される。

都市建設課

Q 先送り、見送りしていた陳情、請願路線の未整備に対する今後の考え方。

A 現道舗装を毎年900万円、7路線、延長800mに取り組んでいる。今回補正で500万円を追加し、4路線を追加。

Q 羽鳥幹線水路のパイプライン化による道路計画の支持があったが、何カ年計画か。

A 1520mを3カ年で完了したい。併せて街路灯を整備する計画。

上下水道課

Q 水道料金の収納状況は。

A 20年度末で96.41%である。

Q 滞納の金額はいくらか。

A 20年度末の累積で約5千100万円です。

Q 給水停止世帯はどのくらいあるか。

A 20年度の給水停止状況は実施回数8回、給水停止予告件数133件、給水停止件数60件、停止件数の内再開件数54件、継続停止件数6件。